



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・梅雨期の衛生に気をつけ、健康生活の良い習慣をつける
- ・時の記念日、虫歯予防デー等の行事に興味をもち参加する

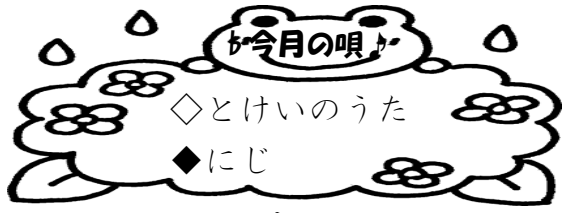


～今月の園内学習～

- ・たし算…7の段
- ・かけ算…7の段
- ・絵画カード…アニエールの水浴 他
- ・声に出して読みたい日本語…
- ・歴史カード…武田信玄 他
- ・国旗カード…アフリカ地方
- ・地理カード…中部地方



走れメロス 太宰治



～保育のポイント～

今回は脳の「右脳」と「左脳」について「右脳教育」で子どもは変わる（七田真著）”を参考にお伝えしたいと思います。これまで学校では（目に見える左脳の機能の）理性的、認知的発達に着目しがちで、（目に見えにくい右脳の）直感的、創造的発達の重要性は認識していても取組みとしては遅々として進まないのが現実でした。ところが、20世紀後半に医学、生理学、とりわけ脳科学の分野で目を見張る研究成果が見られ、1981年、カルフォルニア工科大のロジャー・スペリー教授のノーベル賞受賞を機に左脳と右脳の2つの機能の分化させる発見がなされるようになってきました。これからの学校（保育）教育には、知性と直感、心と体、理性と感情の統合が大切と言えます。科学の進歩で左脳は脳の下層部との連結が薄く、右脳はイメージの発生源である脳の深層部と深く繋がっていることから顕在意識の左脳と潜在意識の右脳との働きの違いも明らかになってきました。脳には左脳の電気系統、右脳のホルモン系の2つの情報回路があり、その違いから前者は人体の細胞や組織に対し微弱な効果しか発揮できず、後者は強大な働きができることも確認できました。スポーツ選手が困難に直面した際、イメージトレーニングで壁を乗り越えた、という話はこれを実証することではないかと思えます。特に、右脳が働きやすい時期が0～6歳で、その後は働きにくくなるのも分かってきたことから右脳の働きに着目し、取組んでいきたいと思えます。

～行事予定～

- ・虫歯予防デー…2日
- ・体操教室…2日(2歳児/4・5歳児)
- 6日(0・1歳児/3歳児)
- ・書道教室…8日・15日・22日・29日
- ・英語教室…14日(乳児)
- 21日(幼児)
- ・リミック教室…13日(幼児)
- 26日(乳児)
- ・身体測定…19日(乳児)
- 20日(幼児)
- ・避難訓練…23日
- ・お誕生日会…27日



「ひよこ」と「りす」組だより



新年度から3か月目と月日の経つのは本当に早いもので、紫陽花が「私の出番」とばかりに存在感を増す季節となります。当初は保育での生活リズムなど環境変化に馴染めず、涙目で過ごすことが多かったようですが、今はお友だち同士、笑顔でおもちゃで遊べるようになってきました。また、園の周りのお散歩が主な外遊びとなりますが、清々しい気候の下でいい外気浴となっています。自ら水筒を取りに行き、帽子を被ろうとしたりするなど、外遊びへの見通しのある行動も微笑ましく感じています。戸外では道すがらで行き交う車両に目がゆき手を振ったり、公園で咲き誇る花々に目を奪われたりと、自然とのふれあいを楽しむ姿が見られます。これから梅雨の季節となりますが、この時期ならではの自然の風物詩探しなどで楽しめるようにしていきたいと思えます



「きりん」と「こあら」組だより



みんなの大好きな外遊びができるように「てるてる坊主」頼みがそろそろ始まろうとしている今日この頃。お友だちとの距離感がより身近になってきた「きりん組」のみんなはゲーム遊びで一緒に盛り上がりを見せる中、他の子を応援したりするなど、他者への意識と行動が出てくるなどの頼もしい成長が見られます。食事は全体的にはまだ模様状態ですが、食べず嫌いではなく手をつけ、お友だちの力も借りて食べようとする頑張る姿が印象的です。また、中学生先生の職場体験ではお兄ちゃん先生にデレデレに甘え、楽しいひとときになっていました。一方、幼児クラス入りした「こあら組」のみんなはより身近となったお兄ちゃん&お姉ちゃんの頑張る姿に感化を受けるように、朝の会に積極参加したり、箸で給食を食べたり、お片付けも最後までする、といったいい習慣を引き継ぐ様子が見られるようになってきました。これも異年齢保育ならではの効果といえますので引き続き、よく見守っていくようにしていきます。



「ひつじ」と「ぞう」組だより



「気温」と「湿度」のダブル上昇で不快指数が増し、いよいよ過ごしづらい時季。これからは日によっては外遊びがままならないことがあります。それは室内でみんなでルール性のゲームで楽しみ、鬱陶しい季節を吹き飛ばしていきたいと思えます。新しいお友だちも加わり、ひと際賑やかになった「ひつじ組」では、ニューカマーの子に生活リズムなどを教えたりして、あっという間に仲良しよし。とは言え、お友だち同士のぶつかり合いは日常茶飯事、そんな時はコミュニケーションで解決策を導き出すようになってきたのを頼もしく感じています。「ぞう組」のみんなは、そんな「ひつじ組」の子と連れ立って、戸外で仲良くボール遊びや虫探しなどの自然探索で大いに身体を動かし、清々しい季節を満喫しています。中学生先生の登場に盛り上がり、いい世代間交流ができました。また、今年度から就学準備として始まった習字教室では座り方、鉛筆の持ち方や「字」を書く時の力加減など今までのお絵描きとは違う感覚に戸惑いながらも一歩、一歩頑張ってトライする姿が印象的です。これからは季節の変わり目ですので体調管理に留意していきたいと思えます。



給食だより

～sakanaパワーを摂り込もう！～



季節は清々しい風が吹き抜けて過ごしやすい春からぐったりする厳しい暑さの夏へと移ろう前に来るのが梅雨。これは春に芽吹いた草木が「恵みの雨」で成長に必要な養分を吸収するのに大切な時期となっていますが、人間にとっては気温上昇とジメジメ感たっぷり食欲減退となりやすいものです。そんな時には、この時期に旬を迎える美味しい魚パワーで元気チャージをし厳しい夏を乗り越えていくようにしましょう。まずは、当地では瀬戸の小イワシが有名で刺身でも天ぷらでも食されますが、血液をサラサラにするEPAを豊富に含んだ丸々と肉厚のイワシを堪能しましょう。年中出回っている感じのアジですが、サイズは小さめですが、凝縮した味わいのアジにはたくさんのアミノ酸で免疫力アップにつながります。また、脂がのったイサキは具沢山の薬味のカルパチョがおすすめです。こちらにもビタミンE効果で免疫力アップや動脈硬化防止に最適です。堤防などで気軽に釣れるキスは淡白で優しい味わいなので魚嫌いの子にも挑戦しやすい魚。こちらはお酢と野菜たっぷり体に優しい南蛮漬けがお薦めで高たんぱく低カロリーなので消化吸収がよく体力回復に効果的です。このように旬な魚で梅雨の食欲減退期を乗り越え、食事の欧米化からくる生活習慣病の予防にも繋がることから魚食を見直す、いい機会になればと思えます。